

社会資本総合整備計画 事後評価
安全・安心に暮せるまちづくり(防災・安全)

計画期間 平成23年度から平成27年度

静岡県三島市下水道課

(様式6) 社会資本総合整備計画 事後評価書

計画の名称	1 安全・安心に暮せるまちづくり(防災・安全)																	
計画の期間	平成23年度～平成27年度(5年間)					交付対象	静岡県三島市											
計画の目標	<p>・事前防災・減災対策を目的に、下水道施設の耐震化と長寿命化を推進し、安全で安心なまちを創造する。</p>																	
計画の成果目標(定量的指標)	<p>・地震対策の推進。本計画対象路線における防災拠点と処理場を結ぶ下水管渠の地震対策実施率を0%(H23当初)から100%(H27末)に増加。 ・処理場における施設改築実施率を6.3%(H23当初)から80.0%(H27末)に増加。 ・三島処理区における長寿命化率(マンホールふた更新)を0%(H27当初)から8%(H27末)に増加。</p>																	
定量的指標の定義及び算定式										定量的指標の現況値及び目標値		備考						
										当初現況値 (H23当初)	中間目標値 (H25末)		最終目標値 (H27末)					
①	本計画対象路線における地震対策実施率 耐震化及び減災対策が行われている延長(km) / 本計画対象路線における幹線管渠の耐震化予定延長(km)									0.0%	84.0%	100.0%						
②	処理場における長寿命化計画に基づく施設改築実施率 改築を実施済みの施設数 / 改築を実施すべき施設数									6.3%	24.0%	80.0%						
③	三島処理区における長寿命化計画に基づくマンホールふた更新実施率 更新を実施済みのマンホールふた数 / 更新を実施すべきマンホールふた数									-	-	8.0%						
全体事業費	合計 (A+B+C)	794 百万円	A	789 百万円	B	0 百万円	C	5 百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)		0.6%							
○事後評価の実施体制、実施時期																		
事後評価の実施体制						事後評価の実施時期												
事業の進捗状況や事業効果の発現状況及び目標の達成状況を検証し、事後評価審査会にて報告し、その結果を踏まえて、担当課で評価した。						平成28年10月 公表の方法 市ホームページに掲載												
事後評価																		
1. 交付対象事業の進捗状況 (○:計画期間中に完成 △:計画期間終了後に完成見込(備考欄に完成予定時期を記入) -:その他(備考欄に具体的に記入(中止、未実施等))																		
交付対象事業																		
A1 基幹事業																		
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	事業及び 施設種別	省略 工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	進捗 状況	備考
											H23	H24	H25	H26	H27			
1-A-1	下水道	一般	三島市	直接	三島市	汚水	改築	下水道総合地震対策(地震対策)	管更生 L=1300m、マンホール33基設置、下水道BCP策定	三島市						330	○	
1-A-9	下水道	一般	三島市	直接	三島市	水処理	改築	三島処理区処理場長寿命化計画策定	下水道長寿命化計画の策定	三島市						13	○	
1-A-10	下水道	一般	三島市	直接	三島市	汚水	改築	三島及び西部処理区管渠長寿命化計画策定	下水道長寿命化計画の策定	三島市						88	○	
1-A-11	下水道	一般	三島市	直接	三島市	水処理	改築	三島処理区処理場(水質保全)	第2揚水ポンプ(29.5m ³ /分×2台)の更新	三島市						49	○	
1-A-12	下水道	一般	三島市	直接	三島市	水処理	改築	三島処理区処理場(水質保全)	最初(掻き寄せ機2台)、最終沈澱池(掻き寄せ機3台)、自家発(1000kVA)の設備設計	三島市						193	○	
1-A-13	下水道	一般	三島市	直接	三島市	汚泥処理	改築	三島処理区処理場(資源循環)	下水道長寿命化計画の策定	三島市						5	○	
1-A-14	下水道	一般	三島市	直接	三島市	汚水	改築	三島処理区管渠改築	実施設計、マンホールふた更新39箇所	三島市						22	△	H28
1-A-15	下水道	一般	三島市	直接	三島市	汚泥処理	改築	三島処理区処理場(資源循環)	遠心機(1616m ²)・汚泥機(757m ²)の屋上防水、汚水管さよの更生(HPφ600-L19m)、中央監視更新(1台)、余剰汚泥供給ポンプ(2台)、洗浄水ポンプ(1台)	三島市						89	△	H28
											合計		789					
B 関連社会資本整備事業																		
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	省略 工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	進捗 状況	備考	
										H22	H23	H24	H25	H26				
											合計							
番号	一体的に実施することにより期待される効果													備考				

C 効果促進事業																		
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	省略 工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	進捗 状況	備考	
										H23	H24	H25	H26	H27				
1-C-1	下水道	一般	三島市	直接	三島市	汚水	新設	下水道総合地震対策 (地震対策)	マンホールトイレ用資機材の備品購入	三島市						4	○	
1-C-2	下水道	一般	三島市	直接	三島市	汚水	新設	三島処理区処理場 (資源循環)	普及啓発パンフレットの製作	三島市						1	○	
											合計	5						
番号	一体的に実施することにより期待される効果																備考	
1-C-1	地震時に下水道施設が被災した場合においても、避難所でのトイレ機能が確保することができ、公衆衛生の向上に寄与する。																	
1-C-2	更新された終末処理場のパンフレットを作成し、広報活動に寄与する。																	

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況					
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		<ul style="list-style-type: none"> ・処理場と防災拠点を結ぶ管渠の耐震化率の増加により、安全・安心なまちを創出できた。 ・処理場施設の施設改築実施率を増加することにより、持続可能な下水道サービスの提供と施設の延命化に寄与した。 ・管路施設の長寿命化率を増加することにより、持続可能な下水道サービスの提供と施設の延命化に寄与した。 			
II 定量的指標の達成状況	指標①(本計画対象路線における地震対策実施率)	最終目標値	100%	目標値と実績値に差が出た要因	・計画的な事業実施により、目標が達成できた。
		最終実績値	100%		
	指標②(処理場における長寿命化計画に基づく施設改築実施率)	最終目標値	80%	目標値と実績値に差が出た要因	<ul style="list-style-type: none"> ・H27に実施予定だった余剰汚泥供給ポンプ及び洗浄水ポンプについて、両設備は、余剰汚泥を濃縮する遠心濃縮機に関連した設備であり、作業エリアの重複や工期の長期化による遠心濃縮機の停止期間等を考慮し、機器重要度の高い余剰汚泥供給ポンプを優先し、洗浄水ポンプを次年度に先送りしたため、目標が達成出来なかった。 ・20施設中16施設の改修を目標としていたが、15施設の改修となったため、75%となった。
		最終実績値	75%		
	指標③(三島処理区における長寿命化計画に基づくマンホールふた更新実施率)	最終目標値	8%	目標値と実績値に差が出た要因	<ul style="list-style-type: none"> ・余剰汚泥供給ポンプ改築事業を優先させるため、事業量の調整を行った結果、目標が達成出来なかった。 ・39箇所のマンホール鉄蓋交換を目標としていたが、35箇所の更新となり、7%となった。
		最終実績値	7%		
III 定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況 (必要に応じて記述)		<ul style="list-style-type: none"> ・減災対策の一環として、本市BCPを上位計画とした下水道BCPを策定した。 ・防災対策の一環として、市内の避難所4箇所にマンホールトイレを33基設置し、上部施設を各防災倉庫に格納した。 			
3. 特記事項 (今後の方針等)					
<ul style="list-style-type: none"> ・効率的な事業をおこない、安全・安心なまちの形成と持続的な下水道サービスの提供を目標に、次期計画に移行し継続的に事業を推進する。 					

(図面) 第5回変更

